

環境自主行動計画2002年度成果(クボタ単独)

項 目	目 標	
環境調和製品・サービスの提供	環境調和製品比率の向上を図る。	● ● ● ● ●
	製品アセスメント、LCA等を積極的に活用して環境性能を向上させる。	● ● ● ● ●
	化学物質の使用量を削減する。	● ● ● ● ●
	省エネルギー、省資源性能の高い製品開発を行う。	● ● ● ● ●
	グリーン調達基準を明確にし、グリーン調達範囲の拡大を図る。	● ● ● ● ●
省エネルギーの推進、 温室効果ガスの削減	エネルギー原単位を1%/年以上削減する。	● ● ● ● ●
	CO ₂ 排出原単位を1%/年以上削減する。	● ● ● ● ●
	CO ₂ 総排出量を1990年度以下に抑える。	● ● ● ● ●
ゼロ・エミッション化	埋立廃棄物のゼロ・エミッション化を推進する。	● ● ● ● ●
	廃棄物の発生を抑制し、排出量を削減する。(2000年度比10%以上)	● ● ● ● ●
化学物質管理	化学物質の適正管理の徹底と維持向上を図る。	● ● ● ● ●
	特定した化学物質等の排出・移動量を2000年度比30%以上削減する。	● ● ● ● ●
PCB関連	PCB含有機器の使用中止と適正保管を徹底する。	● ● ● ● ●
	PCB廃棄物の無害化処理を完了する。(2010年度まで)	● ● ● ● ●
地域環境・作業環境保全	公害事故の未然防止に努め、発生事故ゼロを目標とする。	● ● ● ● ●
	粉じん・有機溶剤等有害物質の管理の徹底及び作業環境の改善を推進する。	● ● ● ● ●
環境マネジメントシステム	ISO14001等の環境マネジメントシステムの拡充、維持向上に努める。	● ● ● ● ●
情報開示	環境報告書等による開示範囲の拡大と充実に努める。	● ● ● ● ●
	地域社会等、利害関係者との良好なコミュニケーションに努める。	● ● ● ● ●
教育・啓発	従業員をはじめ関係者の環境意識向上のため、環境関連教育・啓発に努める。	● ● ● ● ●

2002年度の主な成果		評価
各事業（本）部行動計画に基づき推進（26ページ参照）		★★★
新たに鉄管・空調機器関連製品でアセスメントを導入・運用開始		★★★
建設機械の一部塗装色に含まれていた鉛を全廃		★★★
飲料自販機の4型式で業界のトップ水準を実現等（19ページ参照）		★★★
2事業本部取引先に対し、環境に対する取り組み調査等を実施し取引先と協力して環境負荷低減活動を実施		★★★
1998年度比6.9%増加、前年度比0.6%増加（達成事業所5事業所）		★★
1998年度比7.0%増加、前年度比0.6%増加（達成事業所5事業所）		★★
1990年度比6.0%削減（関連会社含む）		★★★
11事業所で達成（前年度比2事業所増加）		★★★
16%削減（2000年度比、関連会社含む）		★★★
職場毎・工程毎の物質収支による化学物質管理を推進		★★★
排出・移動量の総量は2001年度比7.4%削減、石綿の排出・移動量ゼロ		★★★
使用中の高圧PCB含有機器6台を適正保管に切替（使用中、保管合計853台、関連会社含む）		★★★
処理技術開発、処理施設設置の動向を検討（社内プロジェクトの設置により推進中）		★★★
外部に影響を及ぼす環境関連事故なし、環境監査にて異常時緊急時対策・想定重大リスクの対応確認		★★★
2002年1月と比較して、有害物質作業環境第3管理区分職場が2職場増加（ただし、2002年1月の2職場と2002年7月の4職場については対策完了）、騒音第3管理区分職場が11職場減少		★★
更新審査を9事業所完了、関連会社2社で新規取得		★★★
経済性報告、社会性報告をさらに充実させ、持続可能性報告への移行をめざして編集		★★★
2事業所においてサイトレポートを作成		★★★
人材育成プログラムに基づく環境関連教育の実施		★★★

評価 ★★★：目標達成 ★★：目標一部未達 ★：目標未達